



平成30年 9月23日(日)

12:00開演(11:00開場)

十四世喜多六平太記念能楽堂

料金:全席指定(税込)

S席 9,000円 A席 8,000円 B席 7,000円

C席(1階階敷席) 6,500円 D席(2階席) 6,500円

学生席(2階席) 2,500円(25歳以下、要学生証提示)

- ・午前11時15分より、本舞台にて当日の演目の解説をいたします。お気軽にご参加ください。
- ・当日券をご用意できる場合は午前10時45分より発売いたします。

主催:公益財団法人 十四世六平太記念財団

協力:喜多流職分会

後援:品川区、品川区教育委員会

助成:文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会



喜多流自主公演

平成三十年九月

黒千通

塚寿盛

友枝出松
枝雲雲井

真也康彬

チケット予約購入のご案内

インターネット

喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com/>
(24時間対応、要登録・無料)

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際画面に表示された番号をレジにご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。ご予約の際クレジットカードで先にお支払いを済ませていただくことも可能です。

② 喜多能楽堂事務局 窓口

クレジットカードでお支払いの上(ホームページでのweb決済)、ご予約の際に画面に表示された番号を窓口にご提示いただき、チケットをお受取りください。現金でのお支払いはできません。

電話予約

喜多能楽堂事務局 TEL 03-3491-8813
(午前10:00～午後6:00 休館日あり)

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際お伝えする番号をレジにご提示の上、チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。

② 郵送

チケット代金と手数料を指定の銀行口座にお振込みください。入金確認後、簡易書留にてチケットをお届けいたします。

③ 喜多能楽堂事務局 窓口

ご予約の際お伝えした番号を窓口にご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金のみとなります。

窓口

喜多能楽堂事務局 TEL 03-3491-8813
(午前10:00～午後6:00 休館日あり)

【お受取り・お支払い】

お支払いは現金のみとなります。

- ※お受取り・お支払い方法によって別途手数料がかかります。ご予約の際ご案内いたします。
- ※平成30年度公演の前半5回分は発売中です。後半5回分は平成30年9月1日(土)午前10時より発売します。
- ※ご予約いただいたチケットのキャンセル、変更はできません。

ご注意

- ・開演中の途中入場はお断りいたします。
- ・未就学児童のご入場はご遠慮ください。
- ・やむを得ない事情により出演者が変更になる場合がございます。
- ・許可なき写真・ビデオ撮影、及び録音はお断りいたします。
- ・客席での携帯電話やスマートフォンなど音や光の出る電子機器のご利用はお断りいたします。
- ・ロビー・見所でのご飲食はできません。2階ラウンジをご利用ください。
- ・喜多能楽堂は全館禁煙です。屋外喫煙所をご利用ください。
- ・お席を離れる場合は貴重品、お手回り品にご注意ください。盗難・紛失についての責任は負いかねます。コインロッカーもご利用ください。
- ・係員の指示に従っていただけない際には退場していただく場合がございます。

喜多流自主公演年間優待券

5枚綴り 35,000円

- ◆ご希望のどの席種でもお選びいただけるお得な年間優待券です。
- ◆お求めは喜多能楽堂事務局まで。各喜多流職分でも承ります。
- ◆ご観能の際は別途、座席指定券をご予約ください。
 - ・追加料金はかかりません。
 - ・ご予約は、インターネット、電話、窓口で承ります。
 - ・年間優待券のみでの観能はできません。
 - ・ご入場の際は、年間優待券と座席指定券をご提示いただきます。
- ◆ご利用は、表記年度中(4月～3月)の喜多流自主公演のみ有効です。青年能には使用できません。

自主公演観客席御案内



S席	9,000円	C席(1階階敷席)	6,500円
A席	8,000円	D席(2階席)	6,500円
B席	7,000円	学生席(2階席)	2,500円

会場案内図



JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅より徒歩7分。目黒駅西口よりドレメ通りを直進。杉野学園体育館手前を左に入る。

※当能楽堂は駐車場施設がございませんので、お車でのご来場はご遠慮願います。

十四世喜多六平太記念能楽堂

〒141-0021 東京都品川区上大崎4-6-9

TEL: 03-3491-8813 FAX: 03-3491-8999

喜多能楽堂ホームページ: <http://kita-noh.com/>

九月自主公演番組

能

後シテ連小宰相の局の霊
前シテ連女
後シテ平通盛の霊
前シテ漁翁
大島輝久
松井 彬

通盛

ワキ僧 宝生欣哉
ワキ連従僧 大日方 寛
アイ・鳴門の浦人 高澤祐介

大鼓 大倉慶乃助
小鼓 田邊恭資
太鼓 吉谷 潔
笛 内潟慶三

後見 塩津哲生
高林呻二
友枝雄太郎
佐藤 陽
地謡 佐々木多門
谷 友矩
佐藤章雄
大村 定
栗谷能夫
栗谷充雄

狂言

塗附

シテ・塗師 三宅右矩

アト大名 三宅近成
アト大名 金田弘明

休憩(二十分)

能

シテ連平重衡
シテ千寿
狩野了一
出雲康雅

千寿

ワキ・狩野介宗茂 工藤和哉

大鼓 佃 良勝
小鼓 観世新九郎
笛 栗林祐輔

後見 香川靖嗣
内田安信
金子龍晟
佐藤寛泰
地謡 塩津圭介
狩野祐一
谷 大作
金子敬一郎
栗谷明生
内田成信

休憩(十分)

仕舞

玉葛

大村 定

地謡 佐藤寛泰
金子敬一郎
大島政允
塩津圭介

能

後シテ鬼女
前シテ里女
友枝真也

黒塚

ワキ・祐慶 村瀬 提
ワキ連従者 村瀬 慧

大鼓 柿原光博
小鼓 飯富孔明
太鼓 大川典良
笛 小野寺竜一

アイ・東光坊の能力 前田晃一

後見 友枝昭世
大島輝久

地謡 高林昌司
佐藤 陽
栗谷浩之
谷 友矩
高林呻二
長島 茂
中村邦生
友枝雄人

附祝言

終了予定時刻 五時十分頃

通盛(みちもり)

阿波の鳴門に一夏を送る僧が、平家一門のために毎日弔いをしていると、女と漁翁を乗せた小舟が現れ近づいてきた。舟に篝火があるので呼び掛けてこの明かりで経を読み、この浦で果てた平家一門のことを尋ねる。すると二人は、通盛の戦死を聞いた小宰相が、この海へ入水した次第を語り、小宰相が入水する様子そのままに海に飛び込むと、老人も続いて満ち潮の海に飛び込み姿を消す。(中入)僧が方便品を讀経すると通盛と小宰相の霊が現れ、一ノ谷の合戦の前夜に別れを惜しんだ様子などを語り、経政、忠度と平家の武將が討たれていく中で、通盛も木村源五重章と刺し違え討死した最後を語る。そして読経の声を聞いて成仏得脱の身となり姿は消えていった。(約八十五分)

塗附(ぬりつけ)

ある大晦日、恒例のお礼参りにかけた二人の大名の烏帽子は、多忙なため手入れもできず、ところどころ禿げていて見苦しいので、ちょうど通りがかった塗師に塗り直しを頼む。早塗が得意という塗師は、大名に烏帽子を付けさせたままに塗り直しを始める。砥粉を用いた地鏝ということをして下地を整え、石漆(せしめうるし)、吉野漆などを用いながら塗り仕上げると、漆を乾かすための風呂に二人を入れる。時折息を吹きかけながら、頃合いを見計らい風呂を開けてみると、二人の烏帽子がくっついていて。そこで、ただ烏帽子同士を引き剥がすのではなく、正月に謡われる松囃子にあやかり、拍子に掛かって離すことにする。(約二十五分)

千寿(せんじゆ)

一ノ谷の合戦で捕らえられた平重衡は、鎌倉に護送される。重衡に会った源頼朝は彼の毅然とした態度に心うたれ、狩野介宗茂の家に預け手厚くもてなす。残り少ない命の重衡を慰めるようにと、自分の侍女であった手越の長者の娘、千寿を遣わした。雨の夜、頼朝に命ぜられて千寿は琴と琵琶を持って訪れる。重衡は、自分は朝敵であるので出家の望みも叶わない上、南都焼討の報いこのように恥を晒させられているのだと沈みがちになっていた。宗茂は重衡の心中を察し、慰めるため酒を勧める。千寿も酌をして、詩の朗詠や舞を舞って、重衡の心を和ませる。だんだんと二人は心を通い合わせていたが、夜が明け、勅命により重衡は都へ行くことになり、二人は泣く泣く別れを惜しんだのであった。(約九十五分)

黒塚(くろづか)

祐慶の一行は廻国行脚の途中に安達原に着き、一軒家を見つけ宿を乞う。招き入れた女は旅のなぐさみにもなるうと糸車を回して見せながら人間のはかなさを嘆く。やがて夜が更け寒さが増したので、薪をとってくる間に閨(寝室)を見ないように言い残して出掛けていく。(中入)見るなどいわれ余計に見たくなってしまった能力だが、祐慶は許さない。しかし祐慶が寝入った後に見に行ってしまう。すると、閨には人の死骸が散乱している。これを確かめた祐慶達は宿から逃げ出すが、先程の女が鬼女となって追いかけて激しく争う。しかし、ついに鬼女は祈り伏せられて消え去るのであった。(約七十分)

平成三十年 十月 自主公演番組予告

平成三十年 十月二十八日(日) 正午始
十四世喜多平太記念能楽堂

東岸居士 粟谷明生
蝉丸 高林呻二
融 粟谷浩之